

安岡地区まちづくり集会（H25.9.23開催）

安岡地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月23日（月）14：00～15：30

◎場 所 安岡公民館

◎出席団体数 14団体

安岡自治会連合会、安岡小学校PTA、安岡中学校PTA、安岡地区長寿会連合会、安岡地区スポーツ振興会、安岡地区民生・児童委員協議会、安岡地区社会福祉協議会、安岡文化協会、安岡地区青少年健全育成協議会、下関市防犯対策協議会安岡部会、安岡地区保健推進委員会、安岡地区まちづくり推進協議会、安岡校区子供会連合会、放課後子ども教室サンサタ安岡

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一  
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也  
安岡支所支所長：勢一英雄

◎傍聴者 2名

◎次第

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会                 | 14：00～ |
| 2 部次長あいさつ             |        |
| 3 基本的な推進方向について        | 14：05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明       |        |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14：30～ |
| （1）地域課題について           |        |
| （2）課題解決や活性化などについて     |        |
| （3）総括                 |        |
| 5 閉 会                 | 15：30  |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

## 安岡地区まちづくり集会（H25.9.23 開催）

### 【開催の様子】

9月23日に開催した安岡地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から14名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、安岡地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



### 【課題整理結果】

安岡地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

安岡地区まちづくり集会 №1 9月23日				安岡地区まちづくり集会 №2 9月23日			
地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)	地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)
<b>自然環境</b>				<b>交通</b>			
山間部での土砂災害の危険と隣り合わせ		防災訓練の実施 地区防災マニュアル作成	北防署の支援 安岡地区の地図提供	国道が高く、住宅地の道路も舗装されているため、大雨時には雨水が濁流となって流れてくる所がある	継続要望(写真)	市へ継続要望	要望案件の実施
海岸部で地震による津波被害を受けやすい	訓練の参加 町内のマニュアル作成			JR:省力化でいずれも無人駅となり、駅構内が汚れやすい	駅・周辺のゴミ拾い (ボランティア)	JRに解決策を要望	
河川が増水した時は、床下浸水の被害、通勤・通学路が遮断	清掃活動実施	市へ要望	予算確保	JR:時間待ちが多い(特に小串から先は接続便が少ない)	マイカーに対応		
海岸漂着ゴミが多い(清掃助成金の減少)				バス:横野までは便利が良いが、福江から先は便が少ない			
<b>地域産業(農業)</b>				<b>商業施設</b>			
長引くデフレにより後継者が育たず衰退の一途	保全活動推進	国の助成金活用による保全活動		個人商店(商店街)がなくなる(車が無い人は買い物に困る・町の活気がなくなる)	町内の福祉活動推進	地域全体に活動の輪を広げる	活動資金の援助
個人経営の枠から脱しきれない	共販部会、6次産業化			仕入が大手スーパー独自の流通形態となり、地元食材が少ない	特化、差別化で生き残り 契約栽培への取組み	インターネットで紹介	

## 安岡地区まちづくり集会（H25.9.23開催）

安岡地区まちづくり集会				No3 9月23日				安岡地区まちづくり集会				No4 9月23日			
地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)	地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)	地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)	地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)
<b>福祉施設</b>				<b>学校・育成</b>				<b>人口</b>				<b>福祉施設</b>			
国の社会保障費が年々増え ており、医療・保健の個人負担 が増加		地域で福祉活動の充実		夫婦共稼ぎの家庭が多いた め、子どもと接する時間が少 ない	保護者が子供と向 き合う時間を作り勉 強させるようにする			空き家が増加(現在150軒、 うち危険倒壊家屋21軒)	自治会長から所有 者に維持管理を強 く要請			安岡支所・公民館の老朽化 (昭和40年建設・築50年経過) ・耐震性への不安 ・駐車場の狭隘	カーテン取替えに ついては町民の寄 付を募る	公民館立替の継続要望 (移転候補地や図書館 併設等含めて)	次期基本計画に計上
高齢者の増加により福祉施設 の入居待ちが多くなっている				学力の低下				新興住宅の若者世帯が自治 会に入会しづらい		ボランティアが知人 を勧誘		病院			
市内大手企業の縮小・撤退に よる、若者の就職先が減って いる				市内大手企業の縮小・撤退に よる、若者の就職先が減って いる		市に企業誘致を要望		コミュニティ・スクールのボラ ンティア要員が不足	コーディネーター及び運 営協議会が要員を確保			公共施設			
近くに図書館がない				空き家が増加(現在150軒、 うち危険倒壊家屋21軒)				危険倒壊家屋は市と連 携を強化して早期解決 を図る		危険倒壊家屋は市と連 携を強化して早期解決 を図る	積極的な情報提供	不動産業者、自治連合会、市の3者合同で 自治会入会を勧誘			

安岡地区まちづくり集会				No5 9月23日			
地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)	地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)
<b>歴史・文化</b>				<b>歴史・文化</b>			
継承者が減ってきている (ふくみ、安岡音頭・流鏑馬な ど地区独自の文化)	地元で後継者の育 成に努める	回覧で募集をかけた。文 化協会の活動報告を行う		継承者が減ってきている (ふくみ、安岡音頭・流鏑馬な ど地区独自の文化)	地元で後継者の育 成に努める	回覧で募集をかけた。文 化協会の活動報告を行う	
高齢化が進み会員減少 (文化協会等)	入会者の勧誘と育 成			高齢化が進み会員減少 (文化協会等)	入会者の勧誘と育 成		
<b>その他</b>				<b>その他</b>			
地域情報の共有		連合会の会合に民生、青 年、文化他も参加して月1 回の開催を		地域情報の共有		連合会の会合に民生、青 年、文化他も参加して月1 回の開催を	
耕作放棄地の活用		耕作放棄地を老年寄りのた めに有効活用(農作業、地 域ケアの場)		耕作放棄地の活用		耕作放棄地を老年寄りのた めに有効活用(農作業、地 域ケアの場)	
空き家から木の枝が道路まで 飛び出している		一義的には自治会で対応		空き家から木の枝が道路まで 飛び出している		一義的には自治会で対応	

### 【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

#### 【司会】

私の持ち時間は1時間ということで、最初の30分は課題を出して、残りの30分で課題のそれぞれを自助、共助、公助という部分で分けてくださいと言われております。

なかなか、この時間内にまとめるには非常に労力を要するので、私なりに整理したものをお配りしましょう。

今日は、安岡地区まちづくり推進協議会の会長の立場として、ここで話をさせてもらっております。今まで資料お配りした中でもご案内しておりますけれども、まちづくり集会、これが安岡の地区にとって一番大きな協議会になると思っております。従いまして、そのまちづくり協議会の形、組織はあるのですが、こういった話合いの場を、今まで持ってやったという事はありません。そこで、今年からそれをやろうという事で色々考えておった所、丁度、市の方からのまちづくり集会、これが一番いい機会という事で、今年、考えておったものを今お配りしたものです。

まちづくりと一口に言っても、色々捉え方があります。そこで、今、資料を2つ

揃えておりますけども、1つは、皆さま方が日頃から活動されているそれぞれの活動、それを1つまとめたもの、それが1つ。

それからもう1つの切り口は、安岡とはどういう町なのだ。色々と良い面、悪い面とがあります。そういう切り口から現状の問題、課題そういうものを捉えたということで、2つの書類をお配りしております。

そこで、今日の宿題は、先ほど言いました自助・共助・公助に課題を分けて下さいという事ですので、まず宿題を片づけたと思います。

それで、今、お手元にありますこの大きな書類の、地域の特性から見た安岡地区の現状。これは事前にお配りしておりましたけれども、今日は更に今の3つに分類分けしたものをお配りしております。それでとりあえず説明を先にして、その中でご意見とか色々あると思いますので、それをお聞きして、更に時間があれば、その後、皆さま方の各団体の日常の活動の中で抱えている課題、問題、そういうものを取り上げて話をして行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、安岡地区の現状というもので、最初のページがA4の良い部分。

本当はこれを色々と話合って、安岡の良い所は他にもっと何があるのだろうか、安岡をもっと良くしていくためにはどうしたら良いのだろうか。本当はそういう方向で話をしたいのですが、課題を挙げなくてははいけませんので、私なりの課題を挙げてみました。

まず、安岡の特性の1つ、自然環境。山と海に囲まれた自然豊かな環境にあります。良い部分は、自然に恵まれて空気が綺麗。騒音もなく平穏なまちである。

それともう1つは山と海の間は平野が広がっており、昔から農業と漁業が盛んであり、地元の基幹産業として栄えて参りました。そして農業の方は、安岡に青果市場があります。

これに対しまして、次のデメリットと言いますか、まず山間部は土砂災害の危険と隣り合わせです。そのため、海岸部は地震による津波の被害を受けやすい。

それから、河川が増水した時は床下浸水や通勤・通学路が遮断される。

そして、また海岸の漂着ゴミが多い。山口県は全国でも有数の漂着ゴミの多い県に入っておりして、5本の指の中に入っています。毎年、海岸の清掃作業をやっております。

それから、農業・漁業につきましては、長引くデフレにより後継者が育たず、衰退の一途を辿っています。青果市場がありますので、個人経営からの枠を脱し切れない言う面も抱えています。

課題につきましては土砂災害、地震、津波の被害。これに対して防災訓練。これも継続的な実施が必要である。防災マニュアル、これも整理しなければならない。河川が増水した時は、床下浸水の被害や通学路が遮断されるということで、これは色々な形で行政に要望を提出しております。

それでは、まず防災の訓練の所から行きましょうか。まず自助努力というのが必要なのが、まあ訓練に積極的に参加、そして色々提案をするという事。それから町内ごとに防災マニュアル、これらを作って行く必要があります。

地域で対応するのが、地区の防災訓練の実施、地区の防災マニュアルの作成。これも課題として今年から作成しようということで考えております。そこで、別紙1に今年の防災

## 安岡地区まちづくり集会（H25.9.23 開催）

訓練、これをもう既に計画して実施する段階になっております。今年は11月16日に実施をいたします。これはタイムテーブルで、設営から、開会式から、防災訓練もある。西安岡から安岡本町、安岡東町、それぞれ分けて密集地の火災発生、津波発生、家屋の倒壊を想定した避難訓練を行います。

それから婦人会に協力をお願いして、婦人会の民生委員ですが、炊き出しをすることにしております。皆さん方も時間が取れましたら、場所はそれぞれの西安岡、安岡本町、安岡東町と、各町内で行う訳ですけれども、避難者は漁港広場に集合します。漁港広場に北消防署からも色々演習、それから消火器の操作、それから木材の切断救助活動、そういったものの指導を受けるようにしております。

こういうことで時間が取れる時に参加をして下さい。行政での対応というのは、北消防署の指導・支援、それから防災マニュアルという安岡地区の地図、防災マップを作ろうとしているのですが、安岡地区の地図というはなかなか手に入りません。これは行政にお願いしたいと思っております。

それから河川の浸水等につきましては別紙の2。今、連合会の各自治会で、今年度、道路課、河川課その他と分けまして、継続とあるのが去年まで未解決の案件。それから今年に新規で出したもの、今現在で合計しまして74件ほど、安岡地区から行政、市の方に要請、要望を出しております。こういう形で色々町内から要望が出ておりまして、これをとにかく早く予算を取って処理して頂きたいというのが私たちの要望であります。

それから海岸の漂着ゴミ。これも毎年ボランティアで清掃作業やっておりますが、海岸清掃の助成金、これが年々少なくなって来ております。今、市の環境部、それから河川課、県もありますけれども、助成金を要望しております。これも市の方については助成金の予算増額ということを是非お願いしたいと思っております。

それから、農業・漁業の部分でありますけれども、農業につきましては、遊休農地、これが増えてきております。これは集落単位で保全活動。農地を持っている人、他の保全活動が出来る人の負担で保全して貰う。それが自助努力。これもすでに定着しております。

それから、地域全体では国の助成金、農地・水の助成金が6年前からあります。それが定着しております、継続的に保全活動を実施しております。それから個人経営からの脱却ということでは、自助努力として共販部会、それから6次産業化。物を作るだけでなく製品まで、販売するまで一人でやる、一連で取り組む、これについてはやっている方もかなりおります。それから地域ではJAが色々な設備投資をしています。これと一体となって共同出荷していく。そういう取組で今後もやっていく必要があると思っております。

次の交通の便ですが、良い面と、まず幹線道路、そして国道191号線、そして県道、これは安岡を縦断しています。

それからJRの山陰本線で、地域に3つも駅がある。1つの地域で駅が3つもあるというのは珍しい事だと思います。料金も非常に安いという事で、利用勝手が非常に高いということになります。

それからサンデンバスの運転。これは横野に営業所があります。便数が多く便利です。これに対する問題としては、国道ができておりますので、地盤が高く住宅地の道路も舗装

され、大雨の時には国道から雨水が一気に住宅の方に入ってくる。こういう問題もあります。これも行政には側溝の拡幅等、色々と要望しております。これは頻繁にある訳ではないのですが、こういう集中豪雨がある度に写真を撮って、こういう状況ですよ、なんとか早くしてください。これを繰り返し要望していかなければしょうがない。

それと地域では市長に直接こういうものを話し合うということで、山陰地区5連合が、はまゆう会を結成しています。それから10月に市長にお願い出来る予定にはなっております。

それから次の交通、駅の問題ですが、省力化でいずれも無人駅になっていて、駅の構内が汚れやすい。それから特に小串から先の接続便が少ない。そのため、小串までであっても1時間に1本と、時間待ちが非常に多いダイヤになっております。これもJRの都合でそうになっておまして、小串から先への便はいくらお願いしてもダイヤの改正には同意して頂いておりません。これはもうマイカーで対応するしかないということになります。

それからサンデンバスについて、横野までは便が多いけれど、福江から先は便が少ない。これもマイカーで対応ということでやむを得ない事だろうと思います。

それから次の商業施設。国道沿いに大型量販店、スーパー、大きいものだけでも7つほど並んでいます。これはもう昔から垢田、綾羅木、川中、安岡へと市街化が進んできて、その影響というのは商業施設だけではありません。住宅等色々な意味で、市街化の進展が目立っております。これが出来たということで買い物に行くと、品物が安い。スーパーなど、一括大量仕入れという事で品物が安い。そういうメリットがあります。その反面、個人商店、商店街が無くなってきております。そのため、買い物に非常に困っているという高齢者の数が、どんどんと増えているということで、福祉活動の充実というのが必要になって来ています。それと町の活気が無くなるので、その活性化というのが大きな課題です。それと次の仕入れが大手スーパー独自の流通形態になっておりますので、なかなか地元の食材がスーパーに並んでいないことも多いです。地産地消が課題です。こういうものに対して、まず町内の福祉活動。これはもう1つ下の福祉施設も関係してくるのですけれど、先にこの福祉活動をちょっとお話しさせて頂くと、資料別紙3。これは今年4月に安岡の地区社会福祉協議会。これと安岡の自治連合会の方で福祉活動を強化していきましよう、という話をしております。このようにマンガを書いていますけども、一般的な家族、子供2人、今、言ったように減ってきておりますけども、まあ夫婦と子供の家族。夫婦は殆どが共働きということになっていますが、子供が成長して独立しますと夫婦だけが残る。そのため、更に高齢化が進み、1人住まいになります。その内、空き家になると思います。そのため、空き家の対策につきましては、4月1日に市の条例で空き家条例ができました。これについては後で出てきますので、また後ほど具体的にお話しをしたいと思います。

福祉活動につきましては、市の社会福祉協議会。これが福祉委員会を各自治会で設置してください。組織化をして自治体単位で福祉活動をやっていると、今の民生委員だけで、福祉委員が福祉委員だけで、限定された人だけに全部を投げていたのでは、これからの高齢化には対応できません。その代わり補助を出しますと。いわゆる共同募金を財源とした助成金を出しますと言う話もありまして、これをとにかく今年から各自治会取り組ん

でいきましょうと呼びかけをしている訳であります。それで民生委員の方は、毎年5月に高齢者に直接面談して色々なアンケートを取っております。今年からアンケートの1つに見守り活動というものを項目に入れました。その見守り希望者は、この間の連合会でも報告したのですが、60何人ぐらいだったですね。とにかくおりますよということで、是非それをやっていって下さい。

民生委員が5月にやっているアンケートに、私は地区社協の立場として、社協にコピーをください、と申し入れをしました。ところが民生委員のアンケートの自宅調査の同意書に県と市と、市の社会福祉協議会と民生委員の4者ですね、そうすると他の人に同意を取っていないので、そういうコピーも渡せませんと言われました。

ということは自治会でこれをやりなさいということになると、今、アンケート用紙はチェックしておりますが、これをやりました。ボランティアとは、横野町自治会福祉委員会が町内に住む65歳以上の1人暮らし及び75歳以上の2人暮らしの高齢者を対象に、見守り活動を行うことを目的として実施するものです。見守り活動を行うメンバーは福祉委員会の委員、自治会の役員、民生委員、福祉委員、保健推進委員、長寿会役員、防犯委員、クリーン推進員、ボランティアと近隣の人たち。このアンケートで得た情報は福祉委員会で管理し、他の目的で使用することはありません。このアンケートに協力することを同意しますか。この同意を取り付けて下のクエスチョンに答えて下さいということで、その結果が次のページに、見守り活動アンケートの調査結果として集計しています。左の上の方に①、回覧で全世帯にアンケート用紙を送る。約500世帯。それから自治会員になってない人もおりますが非会員、それから生活保護者については民生委員が訪問してアンケートを実施しております。

見守り活動対象者は99世帯で、アンケートの回答者が56世帯、見守りを希望した人は42ですけども全部何かあったことがあると。

これで見守りを希望した民生委員の実態調査では21だったので、その倍の方から要望が出てきたということで、自治会に対してそれだけ安心感を持っている、そういう表れでなかろうか。そして、生活自立と完全自立と生活ぎりぎり生活とこれにはあります。また、相談相手の居る、居ないという事に分かります。近所との付き合い。これがほとんど毎日、或いは週1、2回、これは近所の人たちが見守りをしているということで、この福祉委員会としては生活自立の中の近所との付き合いが月1、2回は有る無し。これは相談相手がいるという中で5名ですね。それから居ないという中で2名。絞り込んでいくと、この7名が本当に見守りを必要としている人。希望があった人には下に書いていますように、高齢者の見守り隊への連絡ということで、用事がある時にはお気軽にお電話ください。1つは緊急の用事、助けを呼びたい。2つ目の普通の用事、頼みごと相談事がある。だからこれは民生委員と福祉委員に分けて窓口として電話をしてください。居ない時には次の人に電話をしてください。こういう連絡表を全部配布します。とりあえずこれであと7人の方には週1、2回の見守りをする体制を作ります。そういう事で具体的に一自治会ですが、今、進めております。これを安岡には31自治会にありますので、全体に広めていきたいなと思っております。

【市民】

ちょっといいですか。

もう30分間、司会ばかりが話されているのですが、この会には今、諸団体の代表者が14、5名、全員が来られています。この諸団体の方は、司会が言われる資料を延々と聞くのでしょうか。それとも諸団体に何か意見等を求められている。どういった会ですか。

司会がずっとこの資料で喋られていたら、今日の議題、次第の4番についての活性化なんかは、私達は全部聞くだけですか。後30分もありませんが。

【司会】

今、テーマに沿って話をしています。テーマと言うのが、課題を挙げて課題を自助・共助・公助に分けて下さい。これが今日の会議の目的です。だから先にその宿題を片づけようとしています。それが終われば、後は皆さん方から意見を聞きますよと最初に言いました。良いですか。

【市民】

急がれた方が良いかなと思います。

【市】

横やり入れてすみませんが、資料の説明を若干、手短にお願いするという事で、出来るだけ今日は多くの方の意見を。

【司会】

まず事前にまず。

【市民】

1年前のタウンミーティングのようになりますよ。

出来るだけ司会は司会進行をして、諸団体の意見を活発に聞き入れて頂かないと、ちょっと意味が無いのかなと思います。口を挟んで申し訳ないですが。

【司会】

時間かかるけど良いですか。途中で止める事になるよ。私が先に終りまで話をしたらけじめもつきますよ。

【市民】

そこはお任せします。

【司会】

それは良いですが、バラバラになりますよ。あなたは連合会でこの話を聞いているけど、他の人は聞いていないから、私に分かるように話をしている。

【市民】

そういう意味で言っているのではないです。今、皆さんは手元に配られた資料を見られているので、見れば理解できると思うのですよね。私たち諸団体10数団体は、司会がここに書かれている資料を読み上げるのを聴くだけで今日が終わってしまったら、ちょっと勿体ないという意味です。時間も限られていますので。

【司会】

時間が掛かることは前もって市にも伝えてあります。ただ、やらないといけない事があ



るから出来るだけこの時間内にやろうと思って、今、皆さんに話をしているのです。

【市民】

レジメがあるので、司会の話を聞いてから、皆さんの意見を聞くことにしましょう。

【司会】

それから福祉施設。これも安岡の特性として、やはり沢山の施設があります。まず相談しやすい、老後が安心という事ですけども、今言った福祉活動、これを地域の方で進めていく必要があるという事でもあります。

それから病院。これも総合病院を始め、色々と病院の数は沢山あります。これもメリットとして、近くて安心ということでもあります。課題については1つありません。

それから次の公共施設。これも下関市の安岡支所、公民館、農協、銀行、郵便局と揃っております。

スポーツやイベントを楽しめる公共の広場。北運動公園、地区公園、漁港広場と大きな公園があります。これも健康づくり、余暇の活用、地域住民の融和、一体化いうことで活用出来る所でもあります。これにつきましては、まず公民館。もう既に築50年を経過しております。これは今、黒いカーテンで遮っています。レースのカーテンを張っております。これも何年も前から取り替えてくださいとお願いしています。去年も市長が来られた際、このカーテンを変えて下さいと言いました、位置を変えてくださいと。真ん中が一番破れているから、真ん中のカーテンを端に持って行って欲しいと。しかし、一向にこれが治らない。だからオーダーメイドの刺繍の立派なカーテンを付けてもらわなくても結構、市販のカーテンで十分だと。公民館に来るのは地区の人達だけではない。他の企業の人も来る。そういうお客さんもいらっしゃるのです。この視聴覚室のカーテン、ボロボロになって汚い思いをすることは無い。カーテン早く直してくれよ、これはいつも言っているところです。支所の建て替え、これも要望を出しております。先日18日の市議会で、地元の市議会議員も候補地を園芸センターにということで検討をしております。これも早く計画の俎上に載せて頂きたいという風に考えております。

それから学校。これも小学校、中学校があります。地元で9年間、フルに義務教育を受けられるという事で故郷への思いが強いし、友達も多い。それから工業高校もあります。これも昭和28年に合併して、安岡への愛着が深まる。

青少年育成協議会、コミュニティスクール、ほたるの育成など地域ぐるみで子供を育成しているという事でもありますけども、まず、その児童の学力がやっぱり低下してきています。これは共働きの多いという所にも大きな原因があるかと思うのです。この辺も保護者がしっかり勉強させる必要があるかと思えます。それからコミュニティスクール、これも問題としてこの25日に小学校のコミュニティスクールを行いますけども、これをテーマに話をしようという事にしております。

それから大手企業の縮小撤退で、若者の就職先が減っている。銀行の減少の要因はこれに尽きるのかなという風に思います。これはもう企業誘致ということで、市にお願いせざるを得ないと思えます。それからコミュニティスクールのボランティアを募集しましたが、こちらが希望する要員に達していません。この辺はボランティアをやっている方が、知

り合いを勧誘していく、或いはコーディネーター又は運営協議会のメンバーが要員を確保する、こういう努力をして行く必要があると思います。

それから人口減少、空き家の増加ということで、空き家対策。これも市の条例が施行されて、別紙の4になります。これも4月30日から各自治会から空き家の実態調査をしまして、出てきた都度、市のまちなみ住環境整備課に情報を提供して色々と所有者を調べるなどをしてはいますが、危険倒壊家屋が安岡には21ほどあります。

今、資料右の備考欄に書いているように、解体した家屋もかなり増えて来ております。それから今、助言をしている、照会中である、そういうものがほとんどです。安岡は随分これ空き家対策には積極的に取り組んでいる証拠になりますので、これを引き続いてやって参ります。

それから歴史文化。これもふく岷、安岡音頭、安岡踊り、流鏝馬と色々あります。安岡独特の文化があります。これの問題は継承者が減ってきている事で、高齢化に伴って次代への継承というのが課題です。

それから文化協会。今日は会長も同席されておりますけれども、非常に安岡というのは文化の活動が幅広い、安岡地区民生・児童委員協議会の会長もフラダンスを踊っておられますし、芸域の幅が非常に広く、芸達者が多いということです。これも入会者が減ってきているし、入った人もすぐに辞める人が多いということで、この辺の努力が今後とも必要であると。だから地域では回覧が回りますので、募集をしたり、文化会の活動報告を回覧で回すとPRも出来ます。そういう事も要望があればやって行きたいと思います。

以上が長くなりましたけれども、一応、今日の宿題でありました自助・共助・公助。それで次のページで皆さん方は、まちづくりの色々な一翼を担って活動されております。これも以前、配っていますからね。今日持ってきてない方、もう既にみなさん方のお手元に配布していますので、これを見て下さい。この中で、全てこれに各団体の活動内容を織り込むことは、紙面の関係で出来ません。それで各団体の方々の課題、それから要望そういうものを今からお聞きしていきたいと思います。

#### 【市民】

我々がやっている事と、行政がやる事は、大きく違う面があります。

というのは、安岡で土日と2日かけて文化祭を開催していましたが、ある日突然、行政から1日にすることにしようと言ってきた。皆ため息をついた。その面はどういう風に考えているか。我々は今まで通り2日間が良いと思っていますが、最終的には行政が施設の許可の問題もあるから1日にしなさいと言え、従わざるを得ない。

#### 【市】

一応、課題だけ出して頂いて、後で、例えば意見等もございましたら引き続き。最終的に市がお答えしなければいけないものは、総括でお答えしますので、その形でもよろしいでしょうか。

それと、先程、司会の方が説明された自助・共助・公助について、それに対するみなさんの意見と言うのは求められないでよろしいでしょうか。

#### 【司会】

それも含めてです。

【市】

例えば、今日は要望等につきましては1つ1つに対し、ご回答申し上げるのではなくて、担当課も来ておらず難しいので、一旦、市に持ち帰って担当部署の方にそういう意見が出たということを書いて、という事でご理解頂きたいなと思います。

【市】

今の文化祭の件ですが、安岡文化協会の会長がご発言された事への回答なのですが、以前の本支所長が2日を1日にした方が良いのではないかと提案されたと言うのは聞いておりますが、基本的に、文化祭については実行委員会という組織があります。文化協会の会長も副会長になっておられるのですが、その実行委員会で議論をして、2日にするのか1日にするのかという所でございますので、市がしなさいという話ではありませんので、その辺は認識して頂ければと思います。

【市民】

1日というのが、行政から突然1日にしたら良いのではないかとやってきたのです。事前に話は無かったです。

【司会】

文化協会で困っている事はありませんか。

【市民】

困っていることと言えば、今は文化祭を土日やっております事を1日でやらなくてはいけないという事ですか。

【司会】

まだ決まってない事ですよ。

【市民】

決まってない事ですが、ただ、1日ではなかなか難しい。

【司会】

それは実行委員会で話合って、これから決めることですね。

【市民】

少し自治会のことで意見があります。

共助の部分については、今、連合自治会で会長会議をやっているのですが、これをもう少し大きくして、民生委員とか、青年育成協議会とか、文化協会なども入れて、やはり月に1回くらいは会議を持つような形でやれば、皆さんの情報もあるし、色々な事をどうやったら良いかといった事が分かってくると思うので、これは意見として、この場に出しておきたいと思います。会長たちが後で考えることですが、よければ使って貰えればと思います。

やはり、皆さんが集まって、色々な事で意見の共有を図ったり、色々考える事もありますから。お互いの情報が共有できたり、お互いのアイデアで助け合うことになるかと思っていますので、私は、そういう事は市には関係のない事だと思いますけれど、共助ということであれば、皆さん方と話し合う場がないといけないかなと思います。

【市民】

安岡地区民生・児童委員協議会です。

今、安岡自治会連合会の副会長がおっしゃられたように、今年は私も安岡地区まちづくり推進協議会の会長と良くお会いして、色々とお話しをしましたが、私も自治会の集まりに1回ぐらい出させて貰いたいなと思った事がありました。

どのような事を会議で話されているのか、私が伝えたい事を直接、自治会長にお願いしたいという事もありますよね。それで、今年はちょうど改選の年で、自治会長にはとてもお世話になりましたし、同じ考えを同じように持って欲しいなと思う事も多々ありました。

私も毎月、毎月はちょっと交代、交代でも良いけれど、自治会の連合会議に1回でも2回でも、初めのご挨拶とか、そういうのに出たいなと思いました。

またよろしくをお願いします。

【司会】

テーマを決めて出席も出来るので。

【市民】

毎月でなくても良いです。

【市民】

安岡小学校のPTAです。

私はPTAになって2年目になりますが、今、これだけ安岡の縦割りではないですが、テーマに沿って縦に割ったら、これだけのイベントがあつてという風になっていますけれども、ほとんどこの中で集まる時は、いつも同じ人の顔を見ている状態です。

私が一番、重要だと感じたのは、この状況を、この話の中でもありましたが、共有する人たち、若い人たちに、どうやって知らせていくのか、という事だと思います。

小学校でも昨日、運動会がありました。その場で手伝って下さいねって言えば、皆さん集まって、後片づけがとても早く終わりました。だから、若い人の中にも意識の高い人がいると思うのですが、そういった人達を、意識の高い、経験豊富な人たちがどの様に引き揚げて行けるかが、地域の活性に繋がって行くのだらうと、私は常に思っています。

私も、その中の一助になればと思いながら、いつもやっているのですが、なかなか日々の色々な事に追われてしまって、なかなかこういう会議でも発言するにしても、理解するまでに時間が掛って、今日も初めてこんなに色々な事があるのだなと理解させて貰いました。

是非、こういったことを頻繁に、他の活動団体でも、自治会でも、今までは呼ばれなかった事でも呼んで頂ければ良いかなと思います。特に、今日は安岡校区子供会連合会の会長も来られていますけど、私は同級生で、誕生日も一緒です。

彼とは同級生で、ずっと育ってきましたが、今、彼が本当に抱えている課題は、子供会がものすごく衰退している事。私たちが子どもの頃は、市子連が地区にあって、皆が参加していましたが、今は市子連との関係も無くなり、安岡単体の組織になっている状況で、どうやって活動するのか。そういう事も、本当に根本的なものなのではないでしょうか。昔と比べると、子供の数も半分くらいに減っていますが、市子連は、10分の1にまで減

っている現状なので、子供会の考え方とか、そういう事をもっと周知して行きたいと思っていますので、また皆さん、ご協力お願いします。

【市民】

子どもがやっぱり減っているので、子供会の存続そのものがやはり難しくなっている。

それはその規約にも原因があって、例えば、横野の場合、何か行事がある時には親も2人、一緒に出ないといけない、という制約をしている。そうすると、忙しい人の中には辞める人も出てくる。来年以降、子供会を存続できないのではないかと、という危惧があります。

【市民】

小学校区で放課後子ども教室をやっています。

私は、余り若い部類に入らないのですが、先ほど、PTA会長が言われたように、若い方の中には、子供たちのために活動しようと思っっている方も沢山いると思います。高齢化の町に向かって行くのは、先ほどのグラフで見ても分かっていますし、子供会や自治会の形が今まで通り、この先々、今のままでやって行けるかというのも、すごく不安な状況だと思います。

そこで、1つ提案なのですが、先々を見据えて、今の枠組みでつくろいながら物事を考えていくのか、もっと斬新に形を変えて、新しいアイデアを出して、例えば安岡の特区制の様なものを市に要望して、何かを具体的にやって行くとか、そういう事を考えたかどうかと思います。

今のつぎはぎのままで行っても、いつかまた、こういう事を考え直さなければいけない時期が来ると思うので、これから先、10年、20年先を見た時に、このスタイルでいけば何とかなるのではないかとこののを我々が考えて、次の世代にバトンタッチ出来ないかと思っています。

【司会】

何かこうしたいといったアイデアはありますか。

【市民】

具体的には無いのですが、例えば、安岡地域でも耕作放棄地が結構、見受けられます。

例えば、聞いた話ですが、長野県の茅野市では、亡くなるのは自宅だということで、高齢者の方も元気に働いて、農作業や色々な仕事をして収入を得ることで、家や病院で寝たきりだとかを出来るだけ防ごうという活動が市ぐるみでされています。

だから、予防活動と言うのかも知れませんが、そういった事をされて、お年寄りが元気に、という町があります。

だから、そういう風に地域のお年寄りの方もどんどん増えておりますので、お年寄りの方が少しずつでも農作業なり、地域で出来る活動なりをして、少しでも収入を得て、元気に暮らすことができる町になれば良いなと思います。

そのため、例えば、今、色々と問題があると思うので、私の考えとしては、一人暮らしをされている方がある地区にというか、マンションという言い方はちょっとあれですけども、きちんとケアが出来る、そういう場所に集まって頂いて、集まってというか集めて、

それを遠くに集めるのではなくて、この前、テレビで見たのですが、特養が、特養は全部ついていて、ちょっと離れた所にあたりするのですが、それを地域の中に戻して、地域の中でケアをしながら元気に動くということで、地域の中でそういうお年寄りが安心して暮らせる場所を作って、尚且つ、その建屋の近くには、そういった活動が出来る、生き甲斐を得ることができるようなものが揃っている、というような事をすれば、例えば地域からそこに入って来る方、人口が増えてとか、そういった事になるのではないかな。

これはちょっと色々な情報を自分なりに理解して、良い所ばかり思い浮かべて喋っているの、色々課題もあるとは思いますが、なんとなくその耕作放棄地を何とかならないかなと思ったり、本当は、お年寄りも元気なので、もっと地域の中で動いて頂けないかなと思ったりと、日頃からの私なりの思いです。

【市民】

安岡地区保健推進委員会です。

去年までは育児相談があって、年間10回程度、安岡でも行われていたのですが、参加される子供が少なくなってきた事とか、経費の関係とかで、今年から安岡地区での相談が無くなりました。

そこで、来年からセンター方式といって、勝山にセンターが出来て、そちらで吉見や安岡も育児相談を受けるようになったのですが、安岡地区から外に行くのはなかなか大変ですし、今まで通り安岡で育児相談が出来れば、お母さん方もありがたいと思うのですが、実際、安岡地区で生まれる子供の数は減っているのでしょうか。

これが無くなって、とても残念に思っています。

話は変わりますが、今年、お母さんと子どものふれあいのイベントをやったのですが、周知が十分でなかったのか、参加される子供さんとお母さんがすごく少なくて、育児相談も以前のような形にはならないのですね。

【市民】

安岡小学校は、来年入学する1年生の数は市内で一番多いです。

【市民】

そうなのですか。

【市民】

市全体の人口は減る傾向ですが、安岡に限って言えば横ばいか、もしくは少し上がってきつつあります。

やはり周知、そういう事実があるという事を知っている人は知っているのですが、知らない人が本当に多い。だからその部分だと思います。

【市民】

そういう情報は、どんどんと流したら良いですよ。

【市民】

そうですね。だからこういう場で顔と名前が一致して、という事ですね。

【市民】

安岡にあった育児相談センターは、今、どこにいったのですか。

【市民】

安岡は、1年に10回、公民館1階の図書室で、専門の保健師が3名くらい来られて行われておりました。しかし、参加される子供さんが少なくなって、専門の保健師さんが3人待機していても、来られる子供さんが少ないので、手持無沙汰になって、経費の面から見ても、もったいないという風に判断されたのですね。

そのため、川中、安岡、吉見、勝山を1つのエリアとして、センター方式で、勝山で行うと決まったそうです。それで今年度の育児相談は安岡では行われていないのですが、安岡のお母さんたちは、勝山まで行かないと育児相談を受けられないのですね。それは行く機会を奪われるという感じで、すごくもったいないと思っています。

【市民】

私のイメージですが、子供たちとか、お母さん方の悩みというのは、その時、その時で違うのですね。決められた日に合せて来るといえるのは、よっぽど困っている状態。

子供たちが、例えば苛められた時とかに、すぐに駆け込める所が本当は欲しいのですよ。だから、できればお爺ちゃんとかがいつも囲碁をしている、将棋をしている様な所に行くと、子供たちに将棋やら教えてくれる所があれば、そこで子供たちの様子がおかしければ、どうかしたのと言ってくれる大人がいてくれたなら、一番そこで、この子はどこの子かなと、やさしく言ってくれるような事ができれば、分かりやすいのではないかなと思います。

【市民】

私たちの育児相談は1歳から2歳ぐらいまでの子供さんが対象なのです。

【市民】

小さな子供ですか。

【市民】

小さい子供さんです。それで、身長とか体重とか発育の具合とかを保健師さんがアドバイスされる、そういうことなのです。大きな子供さんではないのですね。

【市民】

育児相談という形、育児の相談となるとやっぱり少ないかな。

私は少し大阪で、色々子供のをしていたのですが、ちょっとイベント的なことで、絵本などもいっぱいあって子供を遊ばせましょう、その中で育児相談をしましょうという事で、色々な人に集まって貰うことを、ちょっと考えないといけないかな。

そういう内容を研究しながら、皆に集まって貰う事を考えたら良いのではないのでしょうか。

【市民】

育児相談の時には、おもちゃなども沢山置いていますが、なかなか他の子供さんと遊ばせられないからと、お母さんも早くから来られて、終わりまでおられて、子供さんを遊ばせたり、それからお母さん同士で、色々コミュニケーションを取ったりして過ごされているのですよ。

だから、そういう場が無くなってしまうと、すごく寂しいと思います。

【市民】

もっと集まって貰わないと。

【市民】

20人くらいは集まってくるのですが、以前はもっと来られていました。

【市民】

安岡にある野口産婦人科の先生などとも話をしながら、そういった事はされていないんですか。

【市民】

我々のところは、健康づくり課の保健師さんです。その保健師さんの活動の手伝という事で、私たちは参加しています。だから、産婦人科とは連絡を取り合ってはいません。

【市民】

今の話というのは公的サービスの縮小の話だと思います。これは人口が減る事によってやむを得ない事であり、税金が少なくてやむを得ないという事でもあります。

その中の1つとして、そのような行政の統括が行なわれていくと。それに伴って今回から話をしながら、公助から自助に変えたり、共助に変えたりという事をしていかないといけない。

公助でやることに対しては、もう申し訳ないけど、やむを得ないことがいっぱい出てくるかもしれないので、共助をどのようにやって行くのかという事を話し合わないと、自助で、今、自分自身でやっていきたいと思いますという話がちょっと難しいのであれば、その間のものをどうやって作って行くかという事を、皆さんでとか、市の方で考えてもらって、できるだけ参加しやすい形を模索して貰うという事しか無いと思うのですよ。

勝山公民館の保健センターが、来年度以降にはできるだろう。その様な所で、恐らく日にちを決めたサービスではなくて、通年でそういうサービスが開かれれば、それが帰って良い場合もあるし、その辺は成り行きを見ながら話をしていくというもので良いのかなと思います。いかがでしょうか。

【市民】

そうですね。始まってみないと、皆さんの声というのが分からないですから。

【市民】

そう思います。すみません、いたらない事を言って。

それにもう1つだけ。私は安岡地区のスポーツ振興会をやっています。

今、社会のニーズで、総合型スポーツクラブという事なのですが、地域で色々なスポーツをするクラブが1つになって、お互いが団体を1つにしてアンチエイジングのための組織で行こうという動きがある。

この会議の立ち上げをするためには、今の組織をちょっと変更しなくちゃいけないことも沢山あるのです。その事について小学校、中学校の施設開放委員会、それから自治会さんにも協力して頂いて、市の方からも色々、我々のスポーツ推進員にも言われてるようなので、その辺も考えて行って組織づくりをやって行きたいと思いまので、またご相談を申し上げたいと思います。よろしくお願いします。

【司会】



下関市防犯対策協議会安岡部会から参加しました。

防犯パトロールで巡回している中での気づきですが、安岡駅にゴミ箱がありますけれども、数回に1回はゴミがゴミ箱から溢れていたり、こぼれ落ちていて、誠に汚らしいです。

安岡の玄関口として、本当にこれはどうかという感じになっている訳です。これも無人駅の関係で、業者が1週間に1回か2回かは知りませんが、回収しておるようですが、そういった色々なゴミが溢れている状態が頻繁にある訳です。

これはJR側の方針でしょうが、何とかそういった事の改善と、それから今度、高等学校も下関中央工業高校がこちらの下関工業高校に統合されるという話があるので、乗り降りする生徒もまた増える。そうすると、またゴミの問題も尚更ひどくなってくのではないかと思いますので、JR側にも働きかけて、何かその解決策を考えて行かないといけないのではないかと思います。

それから次ですが、巡回している時に、空き家の前を通る、富任辺りの事ですが、家が倒壊するというような状況には無いのですが、葛が絡まって木も伸び放題。枝が道路の方まで出ていて、見た目も悪い。子供があそこに連れ込まれるとか、立木が塞いで交通事故になるとか、そういった危険性もある訳ですけども、これも行政の方としたら、持ち主に働きかけるというようなことは余りやっていない訳ですか。地元の自治会の方でやるように。

#### 【司会】

まず、自治会で判断します。それでいわゆる管理をしている空き家なのか、されてない空き家なのか、まずは見極めなければならない。そして、管理されている空き家なら、その管理者に言っていけばいい。しかし、管理者が分からないというのが困る。その辺は市と一緒にやってそういう所有者を確認していきます。

#### 【市民】

それから、防犯の事ではないのですが、去年も私から意見を申し上げたのですが、この近辺に図書館が無いのですね。私が知っている限りでは、彦島に立派な図書館があります。それに、この度、旧市内に新しく立派な図書館が出来た。それから長府の図書館があります。この安岡、川中、勝山、吉見を合計した人口は、下関でも相当の割合を占めているのではないかと思います。この近辺には図書館が無い。以前、私は長府の図書館によく行っておりましたが、駐車場が無いのですね。数台分しか停められないので、せっかくいっても駐車できなくて、帰った事もあります。

それに、3年ぐらい前から、前はもう何冊か借りて帰った時には、一応2週間という期限があったのですが、延長を電話で頼んだら、特に支障がない限りは電話でその後も2週間ほど受け付けてくれた訳です。それが、ここ3年ぐらい前からそれが出来ず、必ず返却して下さい、と言うように変わりました。遠隔地から借りると、2週間はすぐ経ちますので、もう面倒だとなって、最近、私はもう図書館を利用するのを止めました。

高齢者が増えるというお話しですけども、やっぱり生きがいといいますか、読書の好きな人も多いと思います。だから、そういう生きがいを持って本を読むということはポケ防止にもなるのではないかと。老人の生きがいにつながる事からも、少しお金が掛るでし

ようが、そういった事も必要ではないかなと思う訳です。

【市民】

図書館の問題はもう3、4年前から川中、勝山、去年は安岡も入って、共通案件として市長に要望を出しています。ただ、金が掛るから実施されないままになっています。

【市民】

ただ、ここで申し上げるのはどうかと思いますが、去年、市長が来られてお話しをしたら、その要望はよく聞いていると。ただ長府の図書館が今、古いからそれを先に建て替えて、その後でこの地区にやろうということですので、何年先になるか分かりません。

まあ、長府の図書館も私たちからすると立派な図書館に見えるのですが、あれを建て替えるのは市の方針として急ぐ訳でしょうが、図書館が無い所から見ると、うらやましい話ですね。

【司会】

予定時間もかなり過ぎましたが、他にあれば。

【市民】

安岡の地区社協から2、3団体と行政にお尋ねと確認をさせていただきます。

まず自治会関係ですが、自治会長が毎年、または2年おきだと思いますが、福祉委員と、それから保健推進員は自治会長が推薦をして、市に登録しております。

最終的には、市の保健所の健康づくり課等々が、全てを管理されているのだらうと思いますが、今、別紙資料3の福祉活動、最終的に安岡の高齢者福祉等、その次資料に横野自治会の参考資料で、65歳以上一人暮らし、75歳以上二人暮らしという数字が出ています。これは横野の実質数値だらうと思います。また実際に、先ほど司会が言われた民生委員が安岡地区を調べていると。こういった数字等をまた地域の方に、提示、開示が出来ないものなのか。当然、保健推進員だけで留まるのかと言うのが実際、保健推進員は自治会長が推薦して、多少なりとも情報は見ることが出来るだらうと思います。

民生委員の場合は、厚生労働大臣、厚生省の管轄で準公務員扱いということで、なかなか情報提供、プライバシー、個人情報という事があるのですが、それをずっと保持されると、地区社協としても、そうしたら厚生労働大臣から任命を受けた民生委員がその民生委員が回収している世帯全部を管理しているのだらうと思います。

町内会からしたら情報が貰えない。貰えないと言うのは、行政に言えば情報が出せないと、個人情報やプライバシーがあるので知り得た情報は、もう外部に出してはいけないといった、色々決まりがあるのでしょうが、最終的に自治会としては、町内会長としてはそういった情報があれば、まだ自助・共助の面で地域住民、町内の者に協力が頼めると。

もし見守り、または何かあれば手助けして下さい。支援を求めている人数ですね。または、ちょっとした内容が町内会長の方に、または福祉委員等に情報が出されれば、まだ違った意味で地区社協を経由して自治会を動かしたり、民生委員、保推、福祉委員らを動かすことは出来るだらうとは思いますが、そういった面で、民生委員は地区社協から、私ら地区社協もそうなのですが、色々な情報を最大限、各民生委員、福祉委員それから保健推進委員等と自治会長を踏まえて、ぎりぎり出せる情報を共有するという機会を設けたとし

て、そういった所で情報交換、情報提供して頂けるのか、そういった面を地区社協また行政にも考えて頂きたいなと思います。

ただ単に、社協から地区社協、そして各役職の方に、あれしろ、これしろと言うのではなくて、こういった面でも福祉活動に高齢者対策等々、見守りだとか言うのであれば、行政もお互いに、縦割りではなくて横の連携をしっかりと取る。その上で地区社協と、また関係団体、行政が連携を取っているから、地区でも連携を取って欲しい、というお互いに2段階構えを進める気が有るのか、無いのかという事です。

それから勿論、福祉関係という事で、別紙資料にもありますが、子供会活動育成協、青少年育成。その他諸々を謳っております。そういった中で今度は、自治会長が防犯連絡所指導員、これも自治会長が推進し選出し、一応、所轄の安岡交番にメールを出しております。当然、警察も自治会長から出されたメンバー、これを警察の方で調査したりしております。管轄は市ですけど、事務局が下関警察署の生活安全課の事務局に移管していますので、警察も一応、身分照会をかけております。そういった関係で安岡地区、そういった防犯指導員、また今日ここに来られています防対協、そして育成協、補導員、またその他色々な防犯がらみの団体、少年相談員は今日、来られていないですかね。色々な団体、そして防犯育成協に絡む問題。

基本、安岡では育成協議会は年に5、6回協議会を開いておりますが、そこには全ての団体が入っておりますので、小さな事でも、また特に防犯絡みの方で臨時に防犯グループが集まったの機会をまちづくりがとるのか、育成協は育成協として、もう既に年5、6回ほど会議をやっておりますので、ぎりぎりかなと。だからまちづくりとして、または地区社協として、この福祉活動、防犯活動とか書かれている場合は、地区社協も絡むのか、全体をまちづくり協議会が取り上げて、各部署に関係する団体等に、その団体等だけで集まって、色々な諸問題を解決して行こうという機会を今後、作って行くのか。それをちょっとお尋ねしたいなと思いました。

#### 【市民】

ちょっと私も気が付いたことを言わせてもらおうと、目的と手段が少し揺れている様な気がする。要するに、最初の民生委員のデータの話。これデータ収集が目的じゃなくて、手段なのね。要は福祉活動を各自治会でやって行こうと言った時に、データが必要だということ。そうすると福祉活動をやって行けば社協が言うように、福祉委員会を立ち上げて実際にその町内のアンケートを取って、アンケートから出たやつを民生委員がチェックしていけば、此処と此処が抜けているよ、という様なのが分かる。だけど抜けているのは何故なのか。それは会員になってない、或いは生活保護者が漏れていると。そういう漏れが民生委員のデータから分かる。だからそれを一緒になってやれば、その全体の、町内の全体の対象者が見つかる。それをやればいい。

#### 【市民】

だから、それは今、横野のデータは出ているから分かります。だから今、地区社協として聞きたいのは、今、横野は連合自治会と福祉委員会を立ち上げてやっているから、そのような情報交換もできるのでしょう。しかし、自治会長は毎年、半分は入れ替わります。

そうした中で、今のような民生委員、自治会長が調べました。抜けは無いですか、なんとかかんとかっていうことが実際に可能なのですかということ、私らは地区社協としてはお聞きしたいのです。

自治会長が調べたデータを民生委員に持って行きました。これで間違いが無い、抜けが無いのかと言う事が出来るのであれば、私ら地区社協も毎年、自治会長が調べてきたデータを引き継ぎして、新しい自治会長に渡して下さいと。転入居、死亡その他色々あるでしょう。その都度確認しながらデータを民生委員に持って行ったら貰えますよと言うのであれば、自治会も、地区社協も楽なのですが、そういった情報開示があるのなら、今、お聞きしたいのです。

**【市民】**

民生委員としてお答えします。

私たちが情報を知っていると言っても数に限りがあります。全部を知っている訳ではありません。私たちがいつも5月に調査するのは、65歳の一人暮らしと、今75歳以上の二人暮らし。これは市からデータが来ます。そのデータによって本当は一人暮らしであっても子供が帰ってきている人もいます。だから、名前が違って、一人暮らしという情報があっても、本当は家族が同居しているとか、そういう人をチェックするのです。

それで、一応全部を絞り込んで一人暮らしが何名、二人暮らしが何名として、そのお宅に伺って色々なアンケートに答えて頂いて調査します。

だから、私たちが知らないことでも自治会長が知っているという事も沢山あるのですね。だから私たちが調査でも、亡くなられたら回覧が回ってくるでしょ。あれで私たちは自分のチェックした、この方は亡くなって一人暮らしになったのだなと思って、自分の目と耳や、色々な人に話を聞いて一人暮らしになったのだと、そういうチェックするのですね。

だから、この間も63歳ぐらいの方がいて、ちょっと生活に困って何も食べていない様だと言うのを近所の人から聞いたのです。でも、すぐにはやっぱり伺いませんでした。やっぱり困ったら、やっぱり何らかで私の方に、民生委員がいるのだから来るかなと思ったのですが、なかなか来なかったんで、一応伺いました。しかし、それは本当に近所の人とか、その知り合いの人が言ってくれなかったら分からない事なのですよ。だから、そこに伺って、やっぱりすごく生活に困っていたので、市のケースワーカーとかに相談して、生活保護の手続きをしました。そういうケースもあります。

だから、子供さんの事とかでも、転入されたというのも自分で気が付けば出来ますが、全然そういうチェックが出来ていません。だから、そういう時は自治会長に一度だけ、すみませんが町の名簿を見せて下さいとお願いしたこともあります。でも、自治会長が親しければ見せてくれますが、やっぱり見せてくれない人もいます。だから、それは自分で目とか耳とか、色々な人からの情報を得て、自分の資料をチェックしながらやっているんで、本当の事を言えば、私たちが何でも知っている訳ではないです。分からないです。

**【市民】**

そこで要するに、バラバラに活動してもやはり、これうまくいかない訳でしょう。しかも、自治会長も1年で代わりますので。だから自治会の中でも福祉委員会という組織を作

って、仕組みを作って、それでその中の人はどう変わるの。その組織の中の仕組みで動いて行けばいいの、これは。

【市民】

そうですね。この間、安岡地区まちづくり推進協議会の会長と私と社協で、全体で話し合ったのですが、その時に、私たちの作った高齢者の調査、それをコピーして皆さんに出すことは絶対出来ません。だけど今、言われたように、こういう人がいるのだけれど、どうなのかねと言った場合、やっぱり、私たちは一応、その調査した方の同意を得ないと言えません。その同意を得て、あなたがもし何か災害の時に知っていて貰わないと、誰も助けに来てくれない。私が知っていても、一度に何人も助けに行くことはできないから、その情報を皆さんに公開して良いですかと言って、良いよって言われれば、それはもう良いですよ。

【市民】

だから、アンケート用紙に書いてあるように、これだけの人が見守りをするのですよ。それに同意しますかという事ね。

だから、改めてそういうのを自治会が取ってやらないと、民生委員がやってもそのデータはいつまで経っても自治会に入っていない。

【市民】

そうです。だから、安岡地区まちづくり推進協議会の会長の所に行って、一応、自治会が調査をしたものが、このように整理されているけど、どこか漏れは無いですかと言った場合、私たちが確認したこの方が漏れていますよと言うのは良いと言われましたね。

【市民】

安岡地区社会福祉協議会の副会長、先ほどの防犯指導員とか色々の話。こういった問題があるよと、だからこういう問題を整理するには、どの組織が集まって話をしないと解決しませんよという様に持っていかないと。

【市民】

だから、今言ったじゃないですか。今、安岡地区の色々な防犯絡み、育成協絡みの団体があると言っても、先々週も安岡八幡でちょっとした事件があった。それはもう本人も名乗り出て謝罪もしている事だろうけれども、そういった情報がその部署だけじゃなくて、もう、とにかく団体関係、全部が縦じゃなくて横の方のつながり、そういった場の機会をまちづくりの1つ防犯関係の1つとして、まちづくり協議会の方が設定してあげるのか。いや、あなた方は育成協があるから、育成協の中で議論をすれば良いじゃないかと。

でも、そこは育成協の場は自治会長が出ておりません。全部に自治会長は出てない。だから自治会長が出ていないという事は、そこに出席した人は知っているけど、肝心の自治会長が知らなかったら、自分の所の町内で、そういった事件があったのかと言うのを、今回は知っている。今回はたまたま情報が入ったから、知っています、そこの自治会長は。だから、そういうまちづくりとしての、防犯のまちづくりとして協議会を設置するくらいはしてあげるのかどうかというのを、ちょっと福祉の方にもそういった資料が入っていたのでちょっとお聞きをしたのです。

【市民】

全部にまちづくり協議会が絡んでくるといっても、そういう個々の問題はやはり、それぞれに関係する団体で集まって話をすることによって持ってかないと、なかなか全てをまちづくりで対応するというのは難しいと思うし、現実として出来ないと思う。そのために育成協もある。

【市民】

しかし、ここに書いて、この一覧表、安岡まちづくり推進協議会、あと安全で明るい住みよい街づくりで、モロに防犯、防災、福祉に関して一番言葉が強いと思うのですが、特にまちづくり協議会と謳っている以上、そして、こうやって書かれている以上は、まちづくり協議会が最初の1、2回目、会が落ち着くまでは、そういった協議会を何々の話し合いの場を設置してあげても、ここに書いてある以上はおかしくない。各自、自分たちで相談して会議を持ちなさいと言うのは、これを書いている以上はちょっと無責任かなと思ってちょっとお尋ねしたのです。

【司会】

だから、一言でまちづくりと言っても、これだけの物があるのですよと。それぞれは各団体がこういう活動しているのですよ。協議しているのですよ、という事を纏めているのであって、まちづくり協議会が全部これをやっていますよ、というのではない。主催者はそこに居るわけで。それぞれ協力する団体がそれぞれ居るわけよ。

【市民】

そういう意味のそのまちづくり協議会の思いが入っている、それだけですか。はい、わかりました。

【司会】

他に、今日まだ発言されていない方はいますか。

【市民】

要望を1つだけ良いですか。

市への要望ですが、スポーツ振興会です。

私達が行事をしようと思った時に、3か月以上前から優先的に地区公園の予約が取れると言われましたよね。でも実体のない団体でも、支所長に1度お願いをして、取ろうしましたが取れませんでした。そのため、育成協と合同の、月例の大会を地区公園でしている。しかし、優先では無いのですね。優先では無いというか、どの団体も本当は普通の一般団体は3か月以内からしか申込みが出来ないのですが、実際はそうではなくて、前もって公的なやっておく、公的にとといいますか、公的な行事をしようと思っても、それを妨げられることが多々あるのです。そのため、その辺のルール作りを再度明確にしてもらって、出来れば地域行事とか、その他の行事が開催しやすい様な場所の提供というのをお願い出来たらなど。そうすることによって、色々な行事がやりやすくなってくると思うので、その辺のご検討をお願いしたいと思います。

【市】

元々、その様になっていないのですよ。地域が優先でその大会があつてと。

【市民】

なっているのですが、実際はなってない。

だから、その団体が何も分からずにやってしまっても良いようです。

【市民】

最後で良いのですが、私から皆さんにちょっとお願いがあります。

というのは、安岡駅に中学生が6人、男性6人、多い時には8人、女性が4名ぐらいで、昨日、私が怒って、彼らに駅を掃除するように言いました。これからもずっと継続するように私が言いますので、皆さん見かけたら、掃除してくれてありがとうと、ひと言褒めてやって下さい。ほうきも買いましたし、皆さん、見かけたらお願いします。

【市民】

色々ご意見を聞きましたけど、私は自治会が推薦している各自治会の福祉委員会を、早く充実してもらって活発にしてもらえればと思います。今の様な問題もがかなり出て来ると思います。

それと、私は自治会の長寿会を見たとき、横野の自治会がちょっと進んでいると思いました。というのは、この福祉委員会の中に独居高齢者の対応というのをに入れてもらって、その中で独居高齢者のホームでの対応策を検討して、次年度もどンドン引き継いでいくということで、小委員会ですずっとやって来ているのですが、横野でも最終結論まではいっておりません。しかし、どこが本当に動いているのかというのは、やってみないと分からないとは思いますが、今、実施中なのは、もう自治会と民生委員が一緒になって、民生委員は民生委員でこれ以上のデータは公表しにくい部分もあるのだらうと思いますし、実際もそうなっていると思うのです。

だから、やはり自治会でその辺を踏まえて、まとめてもらって、別に委員会の中でも良いのですが、指示すれば動けるので、福祉委員会で活動していけば良いと思いますし、今は現実として、もうデータは自治会と福祉員、両方が持っています。

だから、それを活かすには、やっぱり自治会審議会がそういう組織の中で動かさないと動きませんから。

今度は独居老人が分かったらといって、皆を集めて話をする訳でもないでしょう。

だから、アンケートを取って、どうするかを皆で考えて、今は各団体がその前段階で止まっています。だから是非、自治会の中の審議会がきちんと機能するようになったら、今後はどンドンと自治会に情報が上がってきて、また皆の声も出てくると思います。

【市民】

すみません。我々の自治会、連合自治会長は、とても安岡の事を把握していて、よく整理していると思います。そこで、今から自助・共助を具体的に進めていく組織の中で、ただ、今日、公助という、予算をこれだけ欲しいというのは他の地区でも沢山あると思いますが、その優先順位というのはあるのですかね。これだけやりますよとか、今から市に要望、会長から要望が出ていくのか。それは色んな地域の会長から沢山いつてくる。では、それにどうやって優先順位をつけるかという疑問があるのです。

【市】

今、安岡は非常に纏まりがあって、色々な要望とかも連合会長を中心として、はまゆう会という形でされているということですね。今、言われたように、市内全域からの色々な要望が上がってきます。それは各セクションでも、やはり優先順位というのは当然のことながらあります。それと今度、このまちづくり組織の中でのこれは、今からの公助のあり方ですね、今後、検討して行くのですが、当然、そこでもやっぱり優先順位と申しますか、内容を見させて頂いて、これについては認めていくといった、そういったものは当然出てくると思います。

ただ、今時点では、どの部分にどの様に補助するだとかは、まだ決まっていません、この組織の事に関しましてはですね。ただ、他の一般的なものについてはセクションの中でやってくようになっていきます。

【市民】

今から出てきたものに対して評価していく。

【司会】

ありがとうございます。それではご意見が出揃った様ですので、終わらせて頂きます。

今日は時間も限られていましたので、私が事前に資料作って準備をしました。これはまちづくり協議会としての思いもありました。だからもう一度これを見られて、ここが出ていないだとか、もっとここをこういう風にしたらいいと、そういうご意見を改めて頂きたいと思います。毎年、この協議会はこの形でも良いですし、年に1回か2回はやりたいと思っておりますので、一つご協力の程よろしくお願いいたします。以上です。

【市】

今日は長時間、皆さんご協力ありがとうございました。

私は、これまで各地でまちづくり集会の形で、こういった時間を取らせて頂いた中で、最も進んでいる会議ではないかと思っています。その理由として、安岡地区まちづくり推進協議会の会長らが、もう既にこの地域の課題整理をされておられて、それをきっかけにまた一段と皆さんでこういった議論をされたという所です。それは、地域でそういった課題に対応していこうという準備をされていて、偶然、こういう機会があるという事で、せっかくならこの機会に大きくこういう事を皆さんに考えて貰おうということで資料も出されている。多分、他の地区では2つか3つぐらいのテーマしか挙がって来ていない所を、地域の課題という事で、これからの展開も踏まえ、大きな広がりがありました。

皆さん方の中には、これは大変だなと思われる部分もあったかと思いますが、全てを一度に解決していくというのは、なかなか難しい話です。

我々も、市民の方からは、行政の丸投げか、と言われる事が多いのですが、何でもかんでも地域で全部やって欲しいとか、そこまでを求めているのではありません。

地域として、やはり自分たちの愛する地域が、少しでも住みやすくなるとか、何かをきっかけとしてギクシャクしないようにとか、同じ情報があっても、ペーパーに書いた情報というのは今の時代、取り扱いは厳しいですよね。

でも、心をつなぎ合わせた中で、ある目的に対して、そういう情報を大事にして行こうと思えば、つながって行く事もあるということです。



## 安岡地区まちづくり集会（H25.9.23 開催）

今日は、我々が考えているまちづくり集会、まちづくり会議に向けてという話の中で、非常に進んだ議論をされているのに、びっくりした所です。

全てを一度に解決することは出来ないと思いますが、私たちもこういった会議を通して、1つ気になったのは、地域の方から、日ごろ、地区は連合自治会が中心にやっているという話で、他の地区でも同じようなご意見も出ています。

しかし、自治連合会は、色々な課題をずっと、いつも忙しくやっていて、それだけで一生懸命にならないといけない。だから、こういう風な場もなかなか持てなかつたりするのですよね。いつもとは違う団体の方と、幅広く、ちょっと時間をかけて色んな協議する場が無かった。例えば、祭をやる際にも、実行委員の方は、誰か力仕事を手伝ってくれたら助かるなどと思って、こういった会議で話をすれば、誰かから手伝うよという声も出てきたりもしますよね。

日頃、その目的で動き過ぎてしまうと、なかなか重たい仕事だなと、その人は非常にその事にだけ一生懸命になり過ぎて、負担に思われる事もあるかと思うのですが、少しこういう幅広い場で話をすると、いくらでもお助けになれる話や、または新しいアイデアとか、もっと先を考えた中での新しいアイデアもあるかと思っています。

今回、安岡地区では、まちづくりの推進協議会から出された沢山の提案をきっかけとして話し合われた中には、その組織だけで考えることが出来ないような事もあったと思うのですよね。これからもっと広げていこうとする会の中でなければ、きちんと整理も出来ないこともあると思いますが、もう他の地区と比べたら随分と進んでおられますので、一度にやるよりも、1つでも2つでも何か新しい形を作っていく、良くしていける事を我々も実績として期待しておりますので、これからは、我々も大いに安岡のまちづくりに協力していかないといけないな、と思っております。

我々としては、そのまちづくり集会からまちづくり会議に移行するきっかけを通して、地域のお互いの信頼関係、安心・安全が少しでも高まるように応援していきたいと思っています。応援には、お金とか、アイデアとか色々な事があるかと思いますが、余り一度に進めなくても、1つ、2つという気持ちでいますので、またご相談があれば、ご協力させて頂ければと思います。本当に今日は、長時間ありがとうございました。またよろしくお願ひします。

### 【市】

本日はお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございました。

以上を持ちまして、安岡地区まちづくり集会、全日程を終わらせていただきます。